

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	AIAI PLUS 四街道めいわ		
○保護者評価実施期間	2024年11月11日		～ 2024年12月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2024年11月11日		～ 2024年12月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○訪問先施設評価実施期間	2024年11月11日		～ 2024年12月10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 1月 15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援(取り出し)では、運動プログラムと学習プログラムの両方を提供することができる。	個別支援(取り出し)では、園からの要望を共有しながら、個々に必要な課題内容を考え、取り組んでいます。	保護者様と園、職員間での情報共有を行い、カンファレンス等を通して、最良な支援を検討していきます。
2	利用者様(児童)が訪問支援を嫌がっていない。保護者様は事業所の支援に満足している。	園での児童の様子や変化について、適宜保護者様と園とで共有し、訪問支援時に観察・確認を行っています。	保護者様と園、職員間での情報共有を行い、カンファレンス等を通して、最良な支援を検討していきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	すべての訪問支援員が同じレベルで満足いただける支援を提供できる。	保護者様と園のニーズを理解し、児童一人ひとりに合わせた支援が提供できるよう、訪問支援員の支援力向上が必要。	カンファレンス等を通して、職員間での情報共有と支援についての検討を行っていく。保護者様の意向を踏まえ、園と連携しながら、個々に合わせた最良な支援を考えていきます。
2	園や保護者様にとって必要な、適切なフィードバックができる。	集団の中での児童の様子や先生方との関わりから、児童の困り感や配慮事項、必要な支援を考えられるようになる。その上で適切なフィードバックができるようになることが必要。	カンファレンス等を通して、職員間での情報共有と支援についての検討を行っていく。事例検討を行い、様々な視点から児童を観察し、支援を考えられるよう目指していきます。
3			